

研究課題 「ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨増生法の確立」

松本歯科大学病院

骨髄液採取



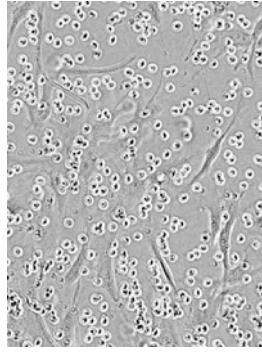
血液採取



【患者様の治療の流れ】

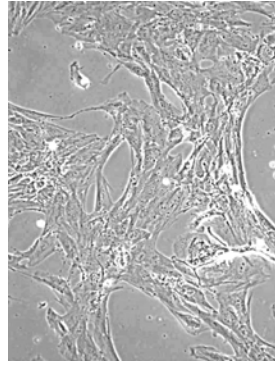
先端細胞治療センター
(CPC)における培養

初代培養時



約3週間

細胞回収時

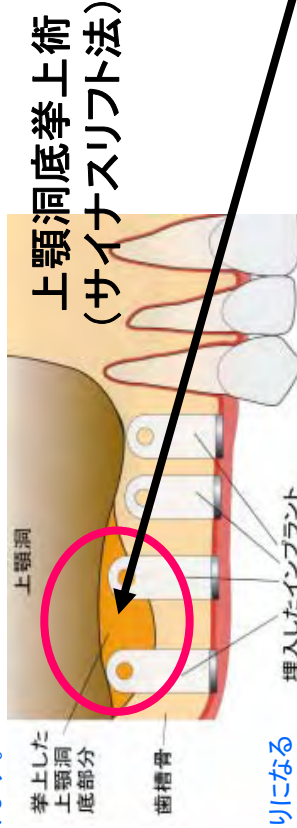


信州大学医学部附属病院へ



1. 口腔外科小手術室にて、腰に局所麻酔を行い、無痛下で骨髄液を9-15ml採取します。約10分かかります。

2. 腕の静脈から血液(約400ml)を採取します。これは、ご本人の細胞を増やすために使われます。採血後、少し休憩したら、お帰りいただけます。



骨補填材とともに移植

歯槽堤形成術(GTR法)

3. 次に来院していただくのは、増えた細胞を骨の代わりになる骨補填材とともに、患者様の顎の骨を増やしたい部分に戻す手術の時です。以降は通常の歯科の治療となります。

※ 従来の自家骨移植の場合、全身麻酔で手術を行い、入院が必要でしたが、この方法では、外来治療のみでお帰りができます。
※ 特別のご病気をもちの場合は、治療ができない場合がありますので担当者にご相談ください。

ヒト幹細胞臨床研究実施計画(松本歯科大学)